

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	所沢シティマラソン大会開催事業	所管	教育委員会教育総務部 生涯スポーツ課
			TEL 2998-9248

事業の目的 (何の為に 行うか)	所沢市のメインイベントとして市のPRを行い、市民の健康づくりや人とのふれあいの場を提供する。また、世代や性別を問わず誰でも気軽に参加できる大会にし、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を図る。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民(市民以外でも参加可)アマチュアで健康な小学1年生以上。定員は、7,000人。	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	5,422	人

活動の内容	(何を したか)	選手は、公募。当課が事務局となっており、各種スポーツ団体から選出された委員及び一般公募による委員で構成された実行委員会を組織し、当日は、約800名のボランティア役員の協力を得て大会を実施している。SEIBUドームをスタート・ゴールとし、毎年12月第1日曜日に開催。平成19年度の種目は、ハーフの部・5kmの部・3kmの部・2kmファミリー・オープンの部。大会経費は、市交付金・参加費・協賛金・ロッカー使用料等により運営している。								
	活動実績	項目名	申込者数	5422	項目名	出走者数	5003	項目名	会議開催数	13
			単位	人		単位	人		単位	回

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	0	0	0	0.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	参加者増加率	今大会参加者÷前回大会参加者	105	105.18	100.2
			単位	単位	単位
			%	%	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕								
		終了		⇒ 事業完了			終了		休止	
	予算	現状どおり		増額			* 減額		終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了											
	総合 評価	拡充 縮小		統合		改善・効率化		改善余地なし		その他〔 〕		終了
	予算	現状どおり		増額			減額		終了			

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当	部課コード	120400	16	2998-9248
120411	所沢シティマラソン大会開催事業	教育委員会教育総務部 生涯スポーツ課	グループ	スポーツ振興		
開始年度 平成 2 年度 → 終了年度 平成 年度						

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令	スポーツ振興法
	分野別計画・指針	所沢市スポーツ振興計画		
	関連・類似事業	陸上選手権支援事業		
	総合計画の体系	政策 第4章 いきいきと学び 文化をはぐくむまち	施策 6節 生涯スポーツ	中柱 1 生涯スポーツ環境の充実
				小柱 (2) 各種スポーツ事業の充実
		H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 24 位		実施計画における位置づけ... H19 ○ H20 ○
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード 3261 事務事業見直しの推進		
	事業開始の背景	市制40周年記念事業として開始。市民から要望の多かったマラソン大会を西武ライオンズ球場(現SEIBUドーム)をスタート・ゴールとして開催した。		

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	所沢市のメインイベントとして市のPRを行い、市民の健康づくりや人とのふれあいの場を提供する。また、世代や性別を問わず誰でも気軽に参加できる大会にし、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を図る。	
	対象(誰を、何を対象としているのか)	市民(市民以外でも参加可)アマチュアで健康な小学1年生以上。定員は、7,000人。	
	利用数の考え方	参加者数	
	対象数	単位	平成 18 年度 337,883 人
		平成 19 年度 339,058 人	
	利用数	単位	平成 18 年度 5,155 人
		平成 19 年度 5,422 人	
	事業の具体的な内容及び実施方法		
	選手は、公募。当該が事務局となっており、各種スポーツ団体から選出された委員及び一般公募による委員で構成された実行委員会を組織し、当日は、約800名のボランティア協力の協力を得て大会を実施している。SEIBUドームをスタート・ゴールとし、毎年12月第1日曜日に開催。平成19年度の種目は、ハーフの部・5kmの部・3kmの部・2kmファミリー・オープンの部。大会経費は、市交付金・参加費・協賛金・ロッカー使用料等により運営している。		

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 <input type="checkbox"/>
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点	
	今年度は、ドーム球場が改修工事のため使用することが出来なかったために、球場に隣接する駐車場をメイン会場に実施した。メイン会場とスタート地点(県道)までは距離があり、参加選手の招集でかなりの混雑が予想されたが、ほぼタイムテーブルとおりに大会を進行することができた。また、大きな事故も無く大会を終えることができた。	

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算				
	決算(見込み含む)				
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
	正規職員人件費	人	0	人	0
	公債費				
	事業費合計		0	0	0
	財源内訳	一般財源	0	0	0
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		0.0	0.0	
	利用数一単位あたり(単位:円)		0.0	0.0	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	申込者数	申込をした人数	人	5155	5422	5000	7000
		出走者数	当日出走した人数	人	4562	5003	4500	6300
		会議開催数	会議開催回数	回	13	13	13	13
成果分析	参加者増加率	今大会参加者÷前回大会参加者	目標値	105	105	105	110	
			実績	105.72	105.18	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		
			%	達成率	100.7	100.2		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		大会実行委員会
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		受益者負担の有無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	メーン会場として使用しているドーム球場の改修工事が今年度も行われるため、使用することができない。それに伴い会場設置費用が例年以上に必要となるため、より一層の効率的な運営運営をしていきたい。			
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	ドーム球場での開催が改修工事に伴い今年度も不可能であり、昨年メイン会場として利用した駐車場も使用できないことから、新たな会場、運営方法を検討する。	参加者の満足度を低下させることなく、安全な会場とコース設定を検討する。	平成20年7月
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )			
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	本事業開始当初より予算が減額となっており、それに伴いコストの削減、効率的な運営に取り組んできた。平成19年度と平成20年度に行われたドーム改修工事が終了することから、会場設置費については削減できるため、平成21年度予算では減額としたが、大会の規模を維持するには、平成18年度並の予算が不可欠である。			
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	生涯スポーツ課長 中村藤司	

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位... 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
			評価理由	評価日				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	施策の体系		施策の方向	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 有り	計画コード	1245
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり		
	施策の方向	4地域に根付いた文化・スポーツの振興		